

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第 1 1 8 回)

2 0 2 6 年 4 ～ 6 月 期 実 績

2 0 2 6 年 7 ～ 9 月 期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町 3 - 6

TEL 0 2 7 6 (4 5) 2 1 2 1

FAX 0 2 7 6 (4 5) 1 0 8 8

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業〈業種〉、回答率など	
(1) 設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
(2) 業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
(3) 全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
(4) 【参考】現在直面している経営課題の指摘率・	10
8つの選択肢に対する回答状況（3つまで選択可）	
(5) 比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	11
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2026年6月
- ② 調査対象期間 今期(2026年4～6月期)に対する
前期(2026年1～3月期)及び
前年同期(2025年4～6月期)との比較実績、
並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ(製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業)に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	217	80.4 (%)
輸送機器	40	→	37	92.5 (%)
その他製造	40	→	36	90.0 (%)
建設業	50	→	43	86.0 (%)
卸売業	30	→	23	76.7 (%)
小売業	40	→	31	77.5 (%)
サービス業	70	→	47	67.1 (%)

5. DI値について

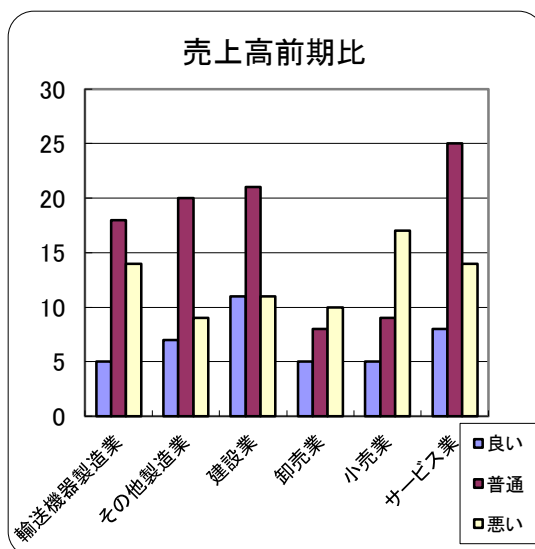
DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、良い(増加)と答えた企業の割合から、悪い(減少)と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、DI値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

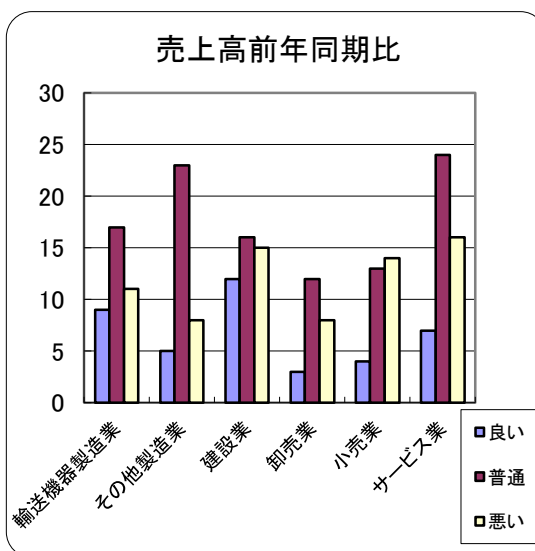
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	18	14	37	▲ 24.3
その他製造業	7	20	9	36	▲ 5.6
建設業	11	21	11	43	0.0
卸売業	5	8	10	23	▲ 21.7
小売業	5	9	17	31	▲ 38.7
サービス業	8	25	14	47	▲ 12.8
合計	41	101	75	217	▲ 15.7



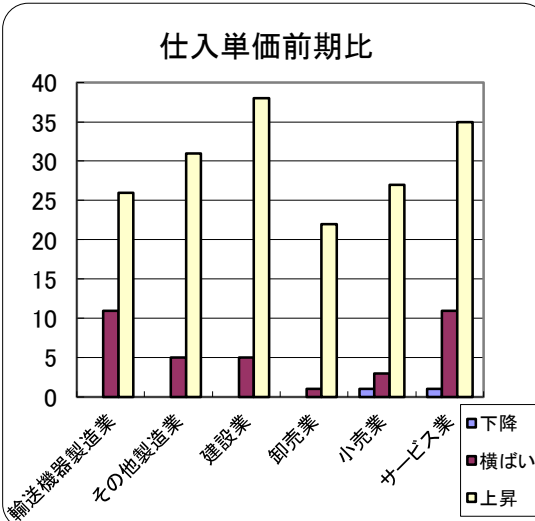
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	17	11	37	▲ 5.4
その他製造業	5	23	8	36	▲ 8.3
建設業	12	16	15	43	▲ 7.0
卸売業	3	12	8	23	▲ 21.7
小売業	4	13	14	31	▲ 32.3
サービス業	7	24	16	47	▲ 19.2
合計	40	105	72	217	▲ 14.8



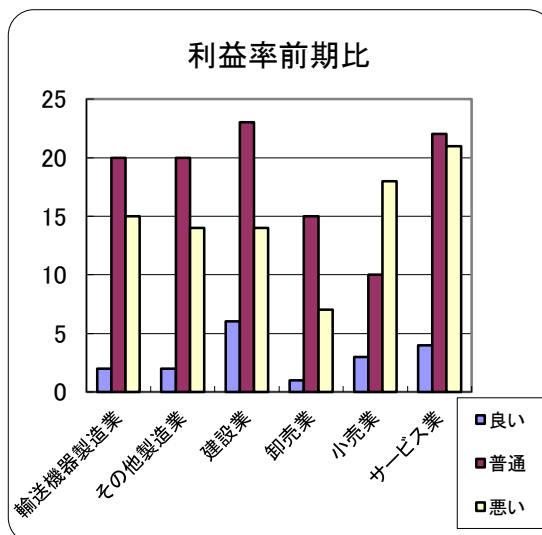
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	11	26	37	▲ 70.3
その他製造業	0	5	31	36	▲ 86.1
建設業	0	5	38	43	▲ 88.4
卸売業	0	1	22	23	▲ 95.7
小売業	1	3	27	31	▲ 83.9
サービス業	1	11	35	47	▲ 72.3
合計	2	36	179	217	▲ 81.6



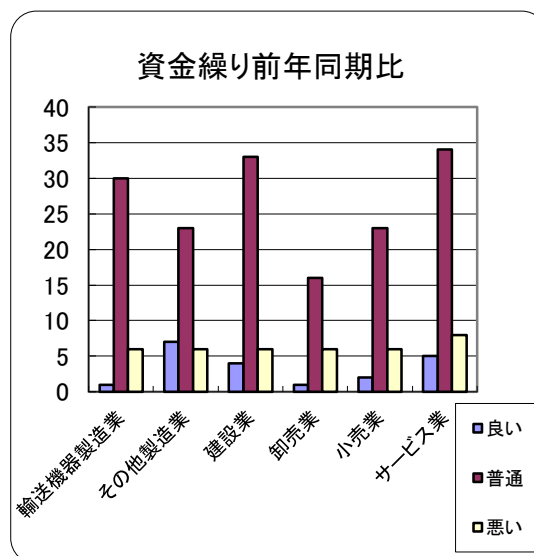
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	20	15	37	▲ 35.1
その他製造業	2	20	14	36	▲ 33.3
建設業	6	23	14	43	▲ 18.6
卸売業	1	15	7	23	▲ 26.1
小売業	3	10	18	31	▲ 48.4
サービス業	4	22	21	47	▲ 36.2
合計	18	110	89	217	▲ 32.7



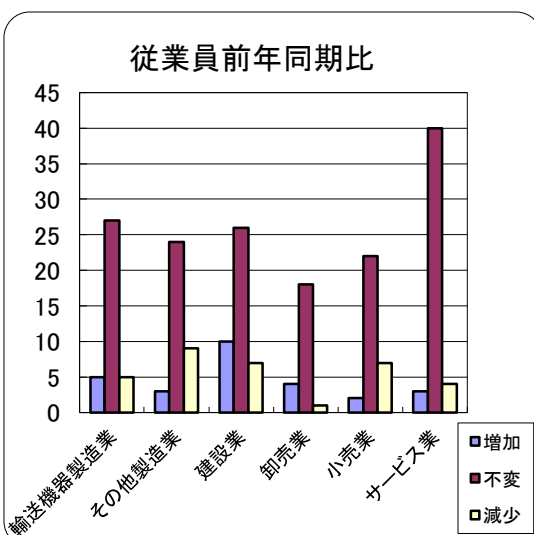
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	30	6	37	▲ 13.5
その他製造業	7	23	6	36	2.8
建設業	4	33	6	43	▲ 4.7
卸売業	1	16	6	23	▲ 21.7
小売業	2	23	6	31	▲ 12.9
サービス業	5	34	8	47	▲ 6.4
合計	20	159	38	217	▲ 8.3



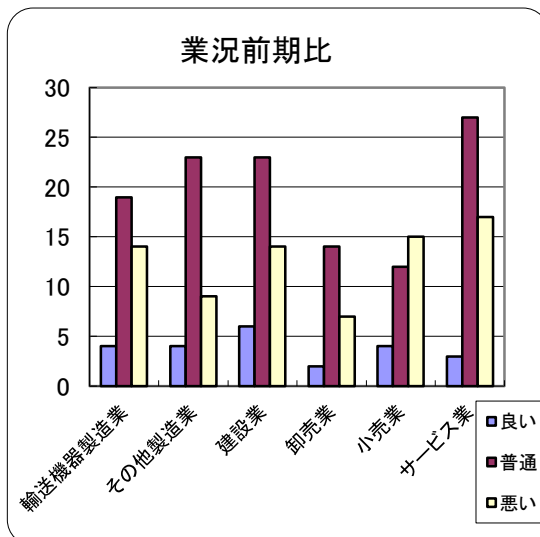
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	5	27	5	37	0.0
その他製造業	3	24	9	36	▲ 16.7
建設業	10	26	7	43	7.0
卸売業	4	18	1	23	13.0
小売業	2	22	7	31	▲ 16.1
サービス業	3	40	4	47	▲ 2.1
合計	27	157	33	217	▲ 2.8



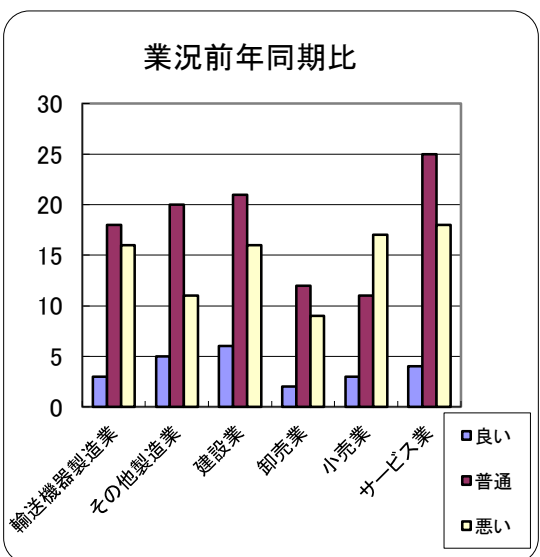
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	19	14	37	▲ 27.0
その他製造業	4	23	9	36	▲ 13.9
建設業	6	23	14	43	▲ 18.6
卸売業	2	14	7	23	▲ 21.7
小売業	4	12	15	31	▲ 35.5
サービス業	3	27	17	47	▲ 29.8
合計	23	118	76	217	▲ 24.4



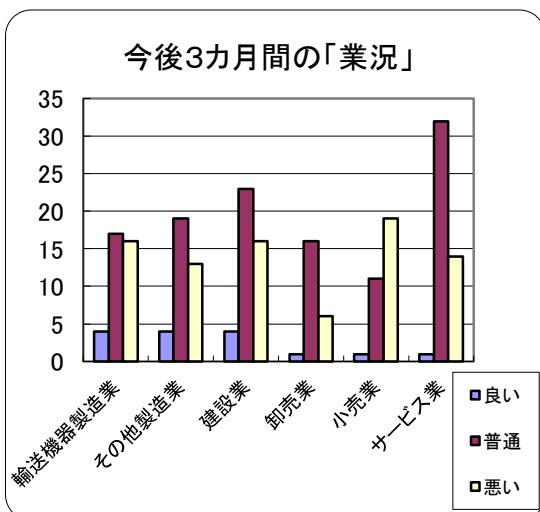
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	18	16	37	▲ 35.1
その他製造業	5	20	11	36	▲ 16.7
建設業	6	21	16	43	▲ 23.3
卸売業	2	12	9	23	▲ 30.4
小売業	3	11	17	31	▲ 45.2
サービス業	4	25	18	47	▲ 29.8
合計	23	107	87	217	▲ 29.5



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	17	16	37	▲ 32.4
その他製造業	4	19	13	36	▲ 25.0
建設業	4	23	16	43	▲ 27.9
卸売業	1	16	6	23	▲ 21.7
小売業	1	11	19	31	▲ 58.1
サービス業	1	32	14	47	▲ 27.7
合計	15	118	84	217	▲ 31.8



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	3.2	▲ 24.3	▲ 27.5
売上高前年同期比	6.5	▲ 5.4	▲ 11.9
仕入単価前年同期比	▲ 54.8	▲ 70.3	▲ 15.5
利益率前期比	▲ 35.5	▲ 35.1	0.4
資金繰り前年同期比	▲ 9.7	▲ 13.5	▲ 3.8
従業員前年同期比	▲ 6.5	0.0	6.5
業況前期比	▲ 22.6	▲ 27.0	▲ 4.4
業況前年同期比	▲ 12.9	▲ 35.1	▲ 22.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 32.3	▲ 32.4	▲ 0.1

[企業コメントより]

- ・物は流れているものの、各費用が上昇しているの、利益を食っている。求人を出しても人が来ないので、より人数を少なくして、合理化や生産性を上げるかが、急務であると感じます。見通しは、一時期よりも、先を見通せるが、まだまだ不安要素の方が多い【パイプ加工業】。
- ・派遣要員の確保が困難で、且つ、安定化ではない【自動車部品製造業】。
- ・あらゆる可能性を排除せず求人活動実施【シートフレーム部品】。
- ・輸出の仕事が減少している為、売上が増加しない【自動車部品シート製造業】。
- ・良い人材が集まらない。原材料費の値上げが落ち着かない【自動車部品製造業】。
- ・中東の影響により、新規の仕事も受注減。原材料の高騰【プラスチック塗装業】。
- ・運搬⇒ガソリン(消耗品の値上がり)、賃金(最底)の値上げ、7月より人手不足(現在の仕事を半分以上手放すかも)⇒派遣を当たっているが、時給が激高く、困惑している【自動車部品製造業】。
- ・人件費・社会保険料・諸経費が増え続け、仕事をしていても利益率が下がってしまう状況。今後も仕事量の増加が見込めず、事業の先行きに強い不安を感じる【自動車部品製造業】。
- ・土日休みの所が、増えてきて、突発的な事の対処が難しくなっている。人も減っているし、仕方のない事ですが、業界が寂しくなりそうです【金属加工業】。

その他製造業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 33.3	▲ 5.6	27.7
売上高前年同期比	▲ 25.0	▲ 8.3	16.7
仕入単価前年同期比	▲ 77.8	▲ 86.1	▲ 8.3
利益率前期比	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0
資金繰り前年同期比	▲ 33.3	2.8	36.1
従業員前年同期比	▲ 11.1	▲ 16.7	▲ 5.6
業況前期比	▲ 30.6	▲ 13.9	16.7
業況前年同期比	▲ 30.6	▲ 16.7	13.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 36.1	▲ 25.0	11.1

[企業コメントより]

- ・高齢者外国人雇用推進。但し、賃金材料高騰が足かせ【繊維加工業】。
- ・原材料費が日に日に上昇しています。今のところ、価格転嫁は、できているが、いつ駄目と言われるか不安です【婦人セーター製造業】。
- ・米・イラン戦争でのホルムズ海峡の閉鎖により、各社在庫を持ったため、目づまりが生じ、原材料価格上昇や供給制限の問題が生じた。価格転嫁は即座にはできないが、10月の出荷から始める予定。値上げ幅は、15%～20%程度を想定する。値上げをしなければ、継続経営は困難になるので、必死に顧客に訴えるつもりだ【食品製造業】。
- ・アルミ材は、毎月値上がり、プラスチックも大幅に値上げや無い板厚や無い種類も出てきている。価格転嫁といっても、見積りで他社に負けるかも考えると難しい。半導体関係のアルミ部品の受注が増えているが、いつまで続くか。先を見通すのが困難【プラスチック製品加工業】。

建設業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	0.0	0.0
売上高前年同期比	▲ 14.0	▲ 7.0	7.0
仕入単価前年同期比	▲ 76.7	▲ 88.4	▲ 11.7
利益率前期比	▲ 23.3	▲ 18.6	4.7
資金繰り前年同期比	▲ 14.0	▲ 4.7	9.3
従業員前年同期比	9.3	7.0	▲ 2.3
業況前期比	▲ 16.3	▲ 18.6	▲ 2.3
業況前年同期比	▲ 23.3	▲ 23.3	0.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 27.9	▲ 27.9	0.0

[企業コメントより]

- ・原材料は、高騰しているが、会社の独自性や強みは、変更していないので、コストアップをして対応している【建設業】。
- ・公共工事量が少ない。資材高騰【土木工事】。
- ・日本国民の力ではどうにもならない。1日でも早くトランプ大統領が退いてもらいたい【防水工事業】。
- ・現在、中東情勢の影響により、石油由来の原材料の一部で入手しにくい状況が続いております。足元では徐々に改善の兆しも見られるものの、安定供給に備えて在庫を増やすことは、資金負担や在庫リスクの面で新たな懸念となっております。また、賃金を引き上げても、社会保険料等の負担により、従業員の手取り額に十分反映されにくい状況があり、従業員の処遇改善を進めるうえで課題と感じております【空調工事業】。
- ・原材料高に関しては、主に現場で働く人の道具関係や作業着などの物価が年々上がっている。人材に関しては、現場依頼があっても、人材不足な為に回らない。求人をかけても人がこない現状【とび工事業】。
- ・資材高騰、資材不足で作業延期などで、仕事が不安定の状況が続いている為、安い単価、値引き工事でも、受注しなくてはならない【内装工事業】。

卸売業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 7.7	▲ 21.7	▲ 14.0
売上高前年同期比	▲ 11.5	▲ 21.7	▲ 10.2
仕入単価前年同期比	▲ 80.8	▲ 95.7	▲ 14.9
利益率前期比	▲ 19.2	▲ 26.1	▲ 6.9
資金繰り前年同期比	0.0	▲ 21.7	▲ 21.7
従業員前年同期比	0.0	13.0	13.0
業況前期比	▲ 34.6	▲ 21.7	12.9
業況前年同期比	▲ 46.2	▲ 30.4	15.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 30.8	▲ 21.7	9.1

[企業コメントより]

- ・住宅リフォーム支援金・期間18日間で終了した。得意先の書類揃える前に終了。年間の行事予定・予算組はきちんと出来ていたのですか。市民の為にもう少し考えて頂きたい。企業も細かい書類揃えに、大変、無駄だったと思います。市民の為に出来るよう市役所はお考え願いたい。それで、受付日、締め日を決めて頂きたい【住宅機器販売業】。
- ・7月～8月でスポット的な案件の受注が確定。また、他にも上向きの情報もあり、この期はなんとか良い方向となりそうである。ただし、全体的には、品不足も続いており、その面では厳しさは続きそうだ【電設資材卸売業】。
- ・ナフサ原料製品から他の原料製品に代替えしている【物流・自動車資材卸売業】。
- ・今後の金利上昇傾向が経営に影響が出ることが懸念、予想されます【再生資源卸売業】。
- ・自動車業界の開発(情報)の遅れにより、売上計上のタイミングもズレが生じている【金型部品販売業】。
- ・人件費や物流費などのコスト上昇が続いているほか、競争環境や人材確保の面で課題が見られる。こうした状況の中、業務効率化や付加価値提案の強化に取り組み、収益性の維持、向上に努めている【医療器具販売業】。

小売業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 14.3	▲ 38.7	▲ 24.4
売上高前年同期比	▲ 25.0	▲ 32.3	▲ 7.3
仕入単価前年同期比	▲ 67.9	▲ 83.9	▲ 16.0
利益率前期比	▲ 60.7	▲ 48.4	12.3
資金繰り前年同期比	▲ 14.3	▲ 12.9	1.4
従業員前年同期比	▲ 3.6	▲ 16.1	▲ 12.5
業況前期比	▲ 39.3	▲ 35.5	3.8
業況前年同期比	▲ 50.0	▲ 45.2	4.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 57.2	▲ 58.1	▲ 0.9

[企業コメントより]

- ・天候不順による飲料水の販売不振、日本酒の値上げによる消費者の買い控え、スーパーでのお茶500mlペット、350缶ビールの箱売りによる影響あり、安くても売れない【酒小売業】。
- ・原材料高⇒売上減少【ジュエリー小売業】。
- ・たまり切った7年産の在庫の倉庫事状と資金繰りのための売り圧力が強く、相場の下落基調が継続【米類販売業】。
- ・不採算店舗の清算を敢行。赤字脱却を目指している【生花販売業】。
- ・人材不足の解消の一部対処法として、合理化出来るところは、AI技術を導入。原材料の高騰に伴い売上・受注の増加には、より一層時間と労力をかけ励んでいる【新車・中古車販売業】。
- ・固定費(光熱費燃料代)等増。売上低調で5月・6月資金繰り悪い。ペイペイやクレジット等の決済が増えて、その手数料(2%～3.5%)が無視できないほど大きい。利益圧迫(例として、たばこ利益10%で3.5%手数料では大変)【酒小売業】。
- ・原則的に、定価販売なので、いかにして商品を揃えられるかが大問題となっているが、地方書店では、中々難しいところがある。いかにして、売れ筋を確保するかが大事となる【書籍販売業】。
- ・主力商品が海外生産のため、単価上昇、長期欠品などが発生している。今期中の上昇は厳しいと思っている【嗜好品販売業】。

サービス業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 5.9	▲ 12.8	▲ 6.9
売上高前年同期比	▲ 11.8	▲ 19.2	▲ 7.4
仕入単価前年同期比	▲ 70.6	▲ 72.3	▲ 1.7
利益率前期比	▲ 41.2	▲ 36.2	5.0
資金繰り前年同期比	▲ 17.7	▲ 6.4	11.3
従業員前年同期比	▲ 3.9	▲ 2.1	1.8
業況前期比	▲ 21.6	▲ 29.8	▲ 8.2
業況前年同期比	▲ 21.6	▲ 29.8	▲ 8.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 25.5	▲ 27.7	▲ 2.2

[企業コメントより]

- ・人口が減っているのに、美容室の数が多く、競争が大変です。原材料も高くなっています【美容業】。
- ・電気、ガス、水道代の値上げに伴い、節約を徹底しています。原材料高騰に伴い、新製品の導入等、積極的に考えています【飲食・サービス業】。
- ・自動車を中心とした工業製品が思いのほか、生産数量が少なく、また、円安のはずなのに、輸入材の大量の入りで、国内のメーカーは生産しづらい状況で、全体的に仕事量が伸びてこない。もう、3年はこんな状況で、コロナ禍の方が逆に良かったと思ってしまう程【鉄回収業】。
- ・ビニール袋、パックの仕入値が37%上がる事が決定しており、とっても厳しい【飲食業】。

- ・コミュニティ放送という制度が出来て以来、常に厳しい。AI等の活用で合理化・省力化を進め、対応していきたい【放送業】。
- ・仕入価格が上がり続けているものの、その度に値上げする訳にもいかず もろに利益率悪化に影響している【飲食業】。
- ・弊社ではなく、取引先が世界情勢の影響を受け経営悪化し、連鎖的に当社の売上も下がっています【WEB制作業】。
- ・相変わらずの容赦ない仕入れ値の高騰に、もう戦う気力も薄れてきています。業者は「うちだって仕入れが上がっているのだから仕方ない」が常套句で、もうこんなやりとりは飽きました…戦意喪失。それでも来てくれる常連客やクチコミを調べて来てくれる新規客を繋ぎとめることに一日一日必死です【飲食店業】。
- ・エンジンオイルが不足しており、価格も上がっている【運送業】。
- ・最近、値上げしたばかりなので、わかりませんが、7月以降の売上が心配です【飲食店業】。
- ・車両を増やそうとしても、キャリアカーという特殊な車がなかなか入手できないので、やたらと人を増やすこともできない。売上も横ばいから、脱却できない。軽油が高い。エンジンオイルが入手できない【自動車運送業】。
- ・基幹システムの移行でバタバタしている【携帯電話販売業他】。
- ・人材を採用しても定着しない【運送業】。

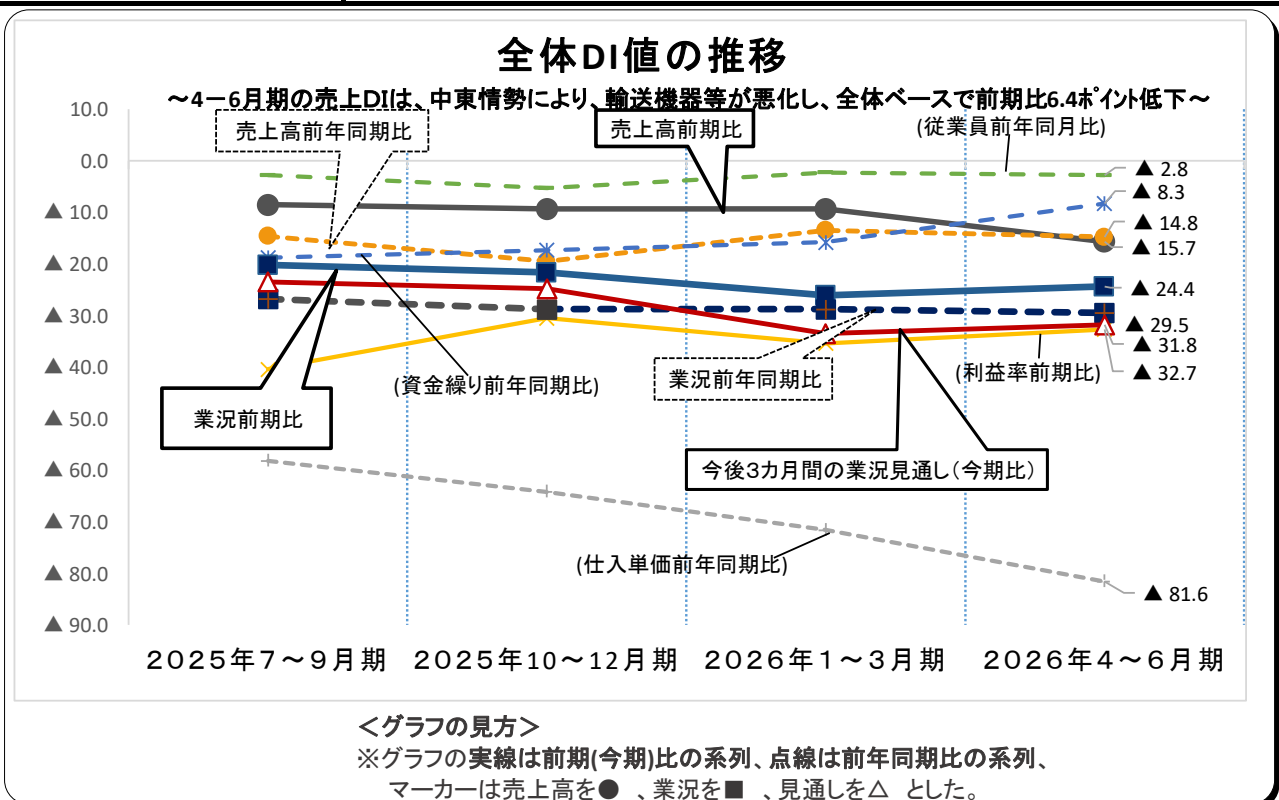
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 9.3	▲ 15.7	▲ 6.4
売上高前年同期比	▲ 13.5	▲ 14.8	▲ 1.3
仕入単価前年同期比	▲ 71.6	▲ 81.6	▲ 10.0
利益率前期比	▲ 35.4	▲ 32.7	2.7
資金繰り前年同期比	▲ 15.8	▲ 8.3	7.5
従業員前年同期比	▲ 2.3	▲ 2.8	▲ 0.5
業況前期比	▲ 26.1	▲ 24.4	1.7
業況前年同期比	▲ 28.8	▲ 29.5	▲ 0.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 33.5	▲ 31.8	1.7

<動向について>

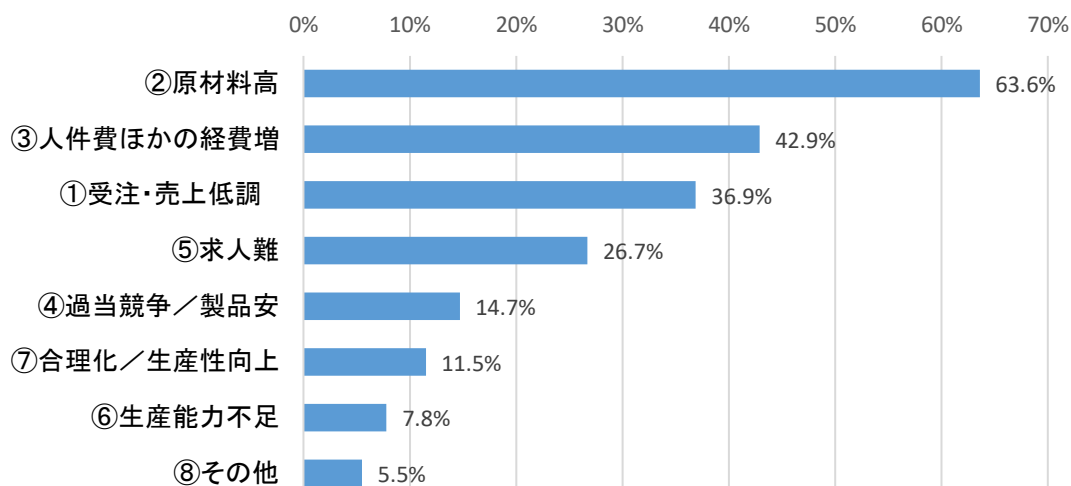
- ・26年4～6月期の売上高DIは、中東情勢により輸送機器等が悪化し、全体ベースで前期比6.4ポイント低下。他方業況DIは、その他製造業が好調で前期比1.7ポイント上昇した。
- ・仕入単価前年同期比DIは、石油関連資材高騰により、大幅悪化、水準は▲81.6となった。その半面で利益率前期比DIは、ほぼ全業種で上昇し、価格転嫁の進展も示唆される。
- ・今後3カ月間の業況見通しは、全体ベースで1.7ポイント上昇を予想。業種別には、強弱まちまちながら、大幅な悪化予想もみられない。流動的な経済情勢の先行きを注視したい。

全 体 D I 値 の 推 移	2025年7～9月期	2025年10～12月期	2026年1～3月期	2026年4～6月期
売上高前期比	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 9.3	▲ 15.7
売上高前年同期比	▲ 14.6	▲ 19.5	▲ 13.5	▲ 14.8
仕入単価前年同期比	▲ 58.2	▲ 64.2	▲ 71.6	▲ 81.6
利益率前期比	▲ 40.4	▲ 30.5	▲ 35.4	▲ 32.7
資金繰り前年同期比	▲ 18.8	▲ 17.3	▲ 15.8	▲ 8.3
従業員前年同期比	▲ 2.8	▲ 5.3	▲ 2.3	▲ 2.8
業況前期比	▲ 20.2	▲ 21.7	▲ 26.1	▲ 24.4
業況前年同期比	▲ 26.8	▲ 28.8	▲ 28.8	▲ 29.5
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 23.5	▲ 24.8	▲ 33.5	▲ 31.8



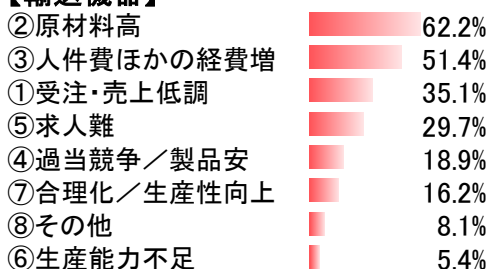
(4)【参考】現在直面している経営課題の指摘率～全業種

(各事業所3つまで選択、総数213件に対する割合)

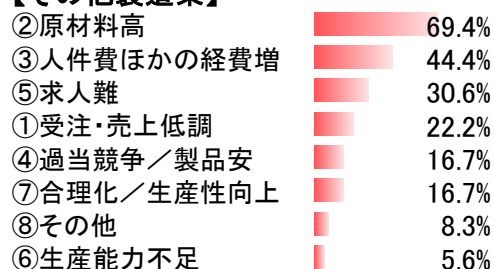


<業種別>

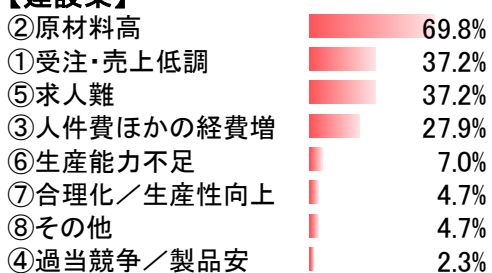
【輸送機器】



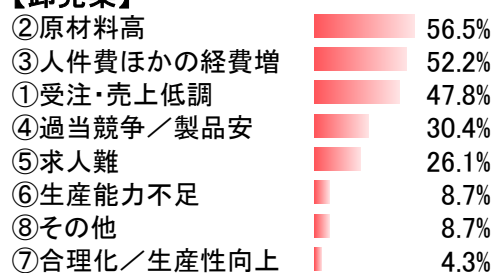
【その他製造業】



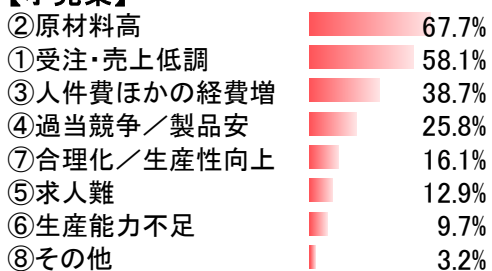
【建設業】



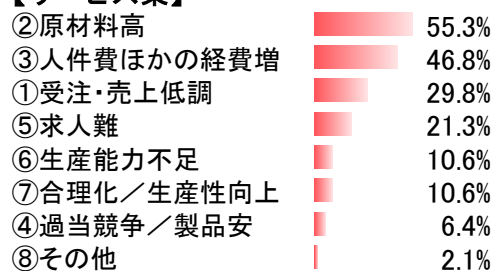
【卸売業】



【小売業】



【サービス業】



(5)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、3か月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 15.1	▲ 3.7	－	－
建設業	0.0	▲ 16.7	－	－
卸売業	▲ 21.7	0.1	－	－
小売業	▲ 38.7	▲ 17.8	－	－
サービス業	▲ 12.8	▲ 2.8	－	－
全 体	▲ 15.7	▲ 8.3	－	－

(売上高・前年同期比)

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 6.8	－	1.5	1.3
建設業	▲ 7.0	－	▲ 16.1	▲ 0.1
卸売業	▲ 21.7	－	▲ 2.5	
小売業	▲ 32.3	－	▲ 8.6	
サービス業	▲ 19.2	－	1.5	
全 体	▲ 14.8	－	▲ 3.8	0.2

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前年同期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 78.1	－	▲ 73.9	－
建設業	▲ 88.4	－	▲ 82.9	－
卸売業	▲ 95.7	－	▲ 68.4	－
小売業	▲ 83.9	－	▲ 74.1	－
サービス業	▲ 72.3	－	▲ 69.3	－
全 体	▲ 81.6	－	▲ 73.5	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 34.2	▲ 21.9	▲ 18.7	▲ 11.1
建設業	▲ 18.6	▲ 32.3	▲ 24.4	▲ 8.8
卸売業	▲ 26.1	▲ 13.2	▲ 16.3	
小売業	▲ 48.4	▲ 30.4	▲ 23.9	
サービス業	▲ 36.2	▲ 23.7	▲ 20.4	
全 体	▲ 32.7	▲ 25.4	▲ 20.8	▲ 9.4

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 5.5	▲ 12.6	▲ 14.2	8.0
建設業	▲ 4.7	▲ 11.0	▲ 8.1	12.0
卸売業	▲ 21.7	▲ 9.3	▲ 11.4	
小売業	▲ 12.9	▲ 18.9	▲ 18.8	
サービス業	▲ 6.4	▲ 11.7	▲ 11.9	
全 体	▲ 8.3	▲ 13.4	▲ 13.2	11.0

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 8.2	▲ 4.7	—	—
建設業	7.0	▲ 1.1	—	—
卸売業	13.0	▲ 1.6	—	—
小売業	▲ 16.1	▲ 4.5	—	—
サービス業	▲ 2.1	▲ 2.0	—	—
全 体	▲ 2.8	▲ 3.1	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 20.5	▲ 16.6	—	9.0
建設業	▲ 18.6	▲ 19.6	—	17.0
卸売業	▲ 21.7	▲ 15.2	—	5.0
小売業	▲ 35.5	▲ 27.0	—	15.0
サービス業	▲ 29.8	▲ 14.5	—	18.0
全 体	▲ 24.4	▲ 18.7	—	13.0

（業況・前年同期比）

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

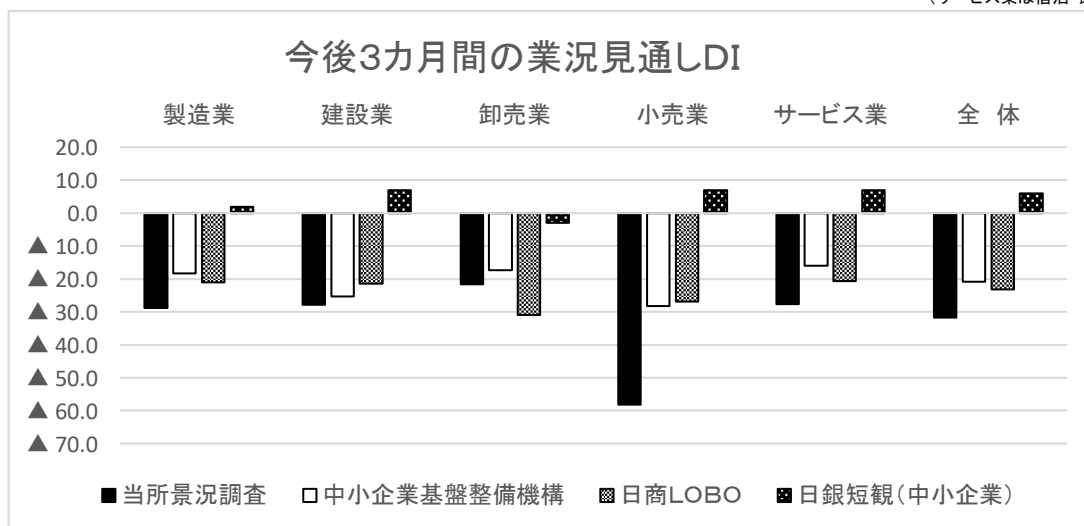
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 26.0	—	▲ 21.5	—
建設業	▲ 23.3	—	▲ 24.0	—
卸売業	▲ 30.4	—	▲ 28.0	—
小売業	▲ 45.2	—	▲ 28.7	—
サービス業	▲ 29.8	—	▲ 16.8	—
全 体	▲ 29.5	—	▲ 22.8	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 28.8	▲ 18.4	▲ 21.0	2.0
建設業	▲ 27.9	▲ 25.3	▲ 21.4	7.0
卸売業	▲ 21.7	▲ 17.3	▲ 30.9	▲ 3.0
小売業	▲ 58.1	▲ 28.3	▲ 26.8	7.0
サービス業	▲ 27.7	▲ 15.9	▲ 20.7	7.0
全 体	▲ 31.8	▲ 20.8	▲ 23.2	6.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2026年（令和8年）7月20日 発行